

大学卒業後の獣医師に求められる資質および能力  
(案)

令和2年2月18日

## 獣医学教育により養成する獣医師像

動物の生命を尊重し、科学的探究力・問題解決力・コミュニケーション力を備え、十分な知識と技術、高い自覚を持って社会の要請に対応し、人の健康と福祉ならびに環境の保全に貢献する獣医師である。

## 卒後獣医師に求められる資質・能力

獣医師には、人と動物の健康と福祉を守るために幅広い獣医事への対応が求められる。我が国では、伴侶動物や産業動物の臨床獣医師に加えて、家畜疾病対策や食の安全などの責務を負う公務員獣医師、医薬品の開発や感染症分野を支える研究者として獣医師への要求も高い。また、獣医師には、生命倫理と動物福祉の理解、畜水産業への貢献、持続可能な社会の確立と環境保全への貢献等も求められる。この多様な獣医師への要求に応えるためには、科学的探究力と問題解決能力を養うために生涯にわたって学習する意欲を持つことに加えて、専門家として関係法令を常に遵守する姿勢が求められる。このような観点から、卒後獣医師に求められる資質・能力として以下の7項目を設定した。

### 1 獣医師プロフェッショナリズム

人と動物の健康と福祉を守るという獣医師の任務ならびに責務を自覚し、獣医師として倫理と関係法令を遵守して社会へ貢献することができる。

### 2 獣医学の知識と問題対応能力

時代に即した獣医師の任務を遂行するために、必要な知識と問題を解決する能力を身に付け、幅広い職務に対応することができる。

### 3 良質な獣医療の提供と安全管理

動物の苦痛、クライアントの不安、社会的影響を考慮し、良質で安全な獣医療を提供する知識と技能を有する。

### 4 社会との適切な関係の構築と獣医事の実践

クライアントや社会と適切な関係を構築できるコミュニケーション能力を有し、公衆衛生、生活衛生および環境衛生等の分野において指導的役割と責務を果たし、地域のみならず国全体や国際社会に貢献することができる。

### 5 安心で安全な畜水産資源確保と One Health への対応

畜水産業の発展と公衆衛生の向上に寄与するため、動物疾病と人獣共通感染症の予防や薬剤耐性菌等の課題に対応することができる。

### 6 科学的探究力

獣医学・獣医療および科学の発展のため、研究の必要性を理解し、批判的思考を持って研究活動を実践することができる。

### 7 人格の陶冶と自律的生涯学習

各種職域における獣医師としての質の向上のために、生涯にわたって自己の研鑽に努め、自律的に学び続けることができる。